

## 社 会（公民的分野）

### 1 調査の対象となる教科書の発行者及び教科書名

発行者の番号及び略称			教科書名
2	東	書	新しい社会 公民
17	教	出	中学社会 公民 ともに生きる
46	帝	国	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
116	日	文	中学社会 公民的分野
225	自	由社	新しい公民教科書
227	育	鵬社	[最新] 新しいみんなの公民

### 2 教科書の調査研究における観点、視点及び調査方法

観点		視点		方法
(ア)	基礎・基本の定着	①	学習課題の示し方	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例
		②	公民としての基礎的教養を培うための工夫	現代社会をとらえる見方や考え方を理解させるための具体例
		③	国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫	国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
(イ)	主体的に学習に取り組む工夫	④	単元の導入における工夫	各単元の導入における、興味・関心を引き出す手立てと具体例
		⑤	課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順
(ウ)	内容の構成・配列・分量	⑥	単元や資料等の配列・分量	総ページ数、各大項目のページ数、その他のページ数
		⑦	社会参画への意識を高める工夫	「民主政治と政治参加」における、社会参画を促している具体例
(エ)	内容の表現・表記	⑧	学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用	資料の種類と掲載数
		⑨	掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント、グラフ、レイアウト等
(オ)	言語活動の充実	⑩	目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫	単元末におけるまとめ方の具体例

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	①学習課題の示し方
<b>方法</b>	1時間ごとの学習課題の記載の仕方と記載例

	1時間ごとの学習課題の記載の仕方の例	記載例
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちの生活と地方自治」「地方自治の仕組み」「地方公共団体の課題」「住民参加の拡大と私たち」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの右横に、学習課題として「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</li> </ul>	<p>「地方自治と私たち」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地方自治はどのような考えに基づいて行われているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治はどのような仕組みで行われているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体には、どのような課題があるのでしょうか。」</li> <li>○ 「住民の声を生かした政治を実現するために、どのような取り組みがなされているのでしょうか。」</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治ってなんだろう」「暮らしを支える地域の行政サービス」「地域の暮らしを支えるために」「変わりゆく地域社会」の項目で示し、タイトルの横に「身近な地域の政治」「地方自治体のしくみと仕事」「地方財政の現状と課題」「これからの地方自治」とサブタイトルを示している。</li> <li>○ タイトルの下に、学習課題として「どのような」「どのように」「何をすることが」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</li> </ul>	<p>「地方自治と住民の参加」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「身近な地域の政治は、どのようなしくみで行われるのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治体はどのように仕事を行っているのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治体は、どのような財政状況にあるのでしょうか。」</li> <li>○ 「地域社会が抱える課題に対し、私たちは何をすることができるのでしょうか。」</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「地方自治と地方公共団体」「地方公共団体のしくみと政治参加」「地方財政の現状と課題」「私たちと政治参加」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの右横に、学習課題として「どのように」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</li> </ul>	<p>「地方自治と私たち」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「日本国憲法では、地方自治についてどのように定めているのだろうか。」</li> <li>○ 「私たちが住む地方公共団体は、どのようなしくみで仕事を行っているのだろうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体の財政はどのような状況になっており、またどのような課題があるのだろうか。」</li> <li>○ 「私たちは、どのような方法で政治に参加することができるのだろうか。」</li> </ul>
<b>日文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちのくらしと地方自治」「地方自治のしくみ」「地方自治と国の関係」「地方自治と私たち」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの左横に、学習課題として「どのような」「どのように」「なぜ」「～とは何でしょうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</li> </ul>	<p>「くらしを支える地方自治」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地方自治とはどのようなもので、なぜそれが必要とされるのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体とは何でしょうか。それを担うのはどのような人でしょうか。」</li> <li>○ 「地方公共団体と国とのあいだには、どのような関係があるのでしょうか。」</li> <li>○ 「地方自治を実現するために、私たちはどのように住民参加していけばよいのでしょうか。」</li> </ul>
<b>自由社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「地方公共団体の役割」「地方自治の課題」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの下に、学習課題として「～とは何だろうか」「どうして」「どう～だろうか」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</li> </ul>	<p>「地方公共団体の仕組みと課題」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地方自治の意義とは何だろうか。国家レベルの行政や立法だけでは、どうして不十分なのだろうか。」</li> <li>○ 「地方自治体の財源は、どう確保されているだろうか。地方と国との関係は、どう変わってきただろうか。」</li> </ul>
<b>育鵬社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きごとに、タイトルを「私たちと地方自治」「地方公共団体の政治のしくみ」「私たちのまちづくり」の項目で示している。</li> <li>○ タイトルの右横に、学習課題として「何ができるでしょう」「調べてみましょう」「どのような」という問いかけの形態で1時間の学習の見通しを示している。</li> </ul>	<p>「地方自治と住民」</p> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「自分たちの地域を住みやすくするため、何ができるでしょう。」</li> <li>○ 「地方公共団体の役割を調べてみましょう。」</li> <li>○ 「私たちの地域ではどのようなまちづくりが行われているのでしょうか。」</li> </ul>



【社会（公民的分野）】

<p>日 文</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「アクティビティ」で、「きまりについて考えよう」「合意する方法について考えよう」「効率と公正の考え方」「きまりの変更について評価してみよう」という課題を、絵図で示している。</li> <li>○ 「合唱コンクールの練習スケジュールについて考えてみよう」という課題を、絵図で示している。</li> <li>○ ケーキを例に、「効率のよくないケーキの分配」「公正さがみだされていらない例」を、絵図で示している。</li> <li>○ 「さまざまな社会集団」「大切と思う人間関係」「家族構成の変化」「慣習・道徳・法」「親等図」「さまざまな対立の例」「国会での話し合いと多数決」「対立と合意、効率と公正の関係」「きまり（ルール）が変更された例（野球）」「ウェブサービスの利用規約」を示している。</li> </ul>
<p>自由社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 部活動を例に、文章で「体育館使用問題①－対立」「体育館使用問題②－合意形成と目的に関する考察」「体育館使用問題③－合意形成後の対立」「体育館使用問題④－決まりをつくる」の順で示している。</li> <li>○ 「やってみよう」として、「自分たちの学校で、体育館使用問題以外に決まりを決めた方がよい問題があるか、話し合ってみよう。もしあれば、体育館使用問題にならって、いろいろ話し合ったり、行動したりしてみよう。」という課題を、文章で示している。</li> <li>○ 「代表的な利益社会の例」として、「企業の研修会」「趣味で集まったクラブ」の写真を示している。</li> </ul>
<p>育 鵬 社</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「昼休みのグラウンド使用について考えよう」という課題を、絵図で示している。</li> <li>○ 「対立・効率・公正・合意の考え方」について、絵図で示している。</li> <li>○ 「家庭の役割」「親等図」「家族構成の変化」「共働き世帯数の推移」「第1子出産前後の妻の就業変化」「保育施設の開園に対する『子どもの声がうるさい』との苦情について伝える新聞記事」「隣近所との望ましい付き合い方」「環太平洋パートナーシップ（TPP）協定」「サッカーで反則をした選手にレッドカードを掲げる審判」「車いすマークが描かれた障害者用の駐車スペース」「ごみ収集所に掲示されている英語、中国語、韓国語で書かれたごみの出し方の注意書き」「学校の規則が書かれている生徒手帳」「契約書の例」「成人年齢引き下げにともなう年齢要件の変更の一例」「権利と権利の対立と合意」等を示している。</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(ア) 基礎・基本の定着</b>
<b>視点</b>	③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせる工夫
<b>方法</b>	国旗・国歌に関する記載の仕方，領土をめぐる問題等に関する記載の仕方

	国旗・国歌に関する記載の仕方	領土をめぐる問題等に関する記載の仕方
<b>東 書</b>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「主権国家には、その国を象徴する国旗や国歌があり、歴史や文化が反映されています。日本は、1999（平成 11）年に国旗国歌法を制定し、日章旗を国旗、『君が代』を国歌と決めました。国どうしが尊重し合うために、各国の国旗・国歌を大切にしなければなりません。」</li> <li>○ 写真「独立を喜ぶ南スーダンの人々」「国際連合本部の前に並ぶ加盟国の国旗」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」</li> <li>○ 写真「沖ノ鳥島の全景と、護岸が造られた北小島」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「竹島問題の経緯と取り組み」「北方領土問題の経緯と取り組み」「尖閣諸島への対応」</li> <li>○ 写真「竹島」「北海道の根室半島上空から見た歯舞群島」「樺太の真岡から函館への引きあげ」「日ソ共同宣言」「尖閣諸島の島々」「中国の船と並走する海上保安庁の巡視船」</li> <li>○ 地図「李承晩ライン」「沖縄返還協定でアメリカから日本に返還された範囲」</li> <li>○ 新聞「李承晩ラインについて報じる島根県の新聞」</li> </ul>
<b>教 出</b>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「世界のどの国にも、国旗と国歌があります。国旗や国歌はその国を表す象徴（シンボル）で、国家と国民はそれらに対しお互いに敬意を払って尊重し合うことが、今日の国際的な儀礼になっています。日本では長年、『日章旗（日の丸）』を国旗、『君が代』を国歌とするのがならわしでしたが、1999年にそのことが法律で定められました。植民地などがついに独立を果たして主権国家となり、独自の国旗を掲げることは、自らのことは自分で決定するという民族自決への思いや誇りを表現することにもなります。国旗や国歌には、それぞれの国の歴史や国民の思いがこめられています。」</li> <li>○ 写真「オリンピックの表彰式で掲げられる国旗」「国歌を斉唱するサッカー日本女子代表チーム」</li> <li>○ 絵図「南アフリカ共和国の国旗の変化」</li> <li>○ 側注「1999年の国会において、当時の首相は『君が代には、日本の繁栄と平和への願いがこめられている』という考え方を示しました。」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌の歴史」</li> <li>○ 絵図「咸臨丸」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真「北方領土の返還を求めて訴える人たち」「日ロ外相会談」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>○ 地図「北方領土」「日本の国土とその周辺」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「日本の外交の今とこれから」の一部</li> <li>○ 写真「尖閣諸島周辺の海上を警備する、海上保安庁の巡視船とボート」「折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会」</li> </ul>
<b>帝 国</b>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「国旗と国歌は、それぞれの国のシンボルです。世界の国々が自分たちの国の歴史を背景に国旗や国歌を定めています。日本では、1999年の国旗・国歌法によって、日章旗（日の丸）が国旗で、君が代が国歌であると定められています。オリンピックなどの国際大会でも、各国の国旗が掲げられ、国歌が演奏されています。国際社会では、国旗や国歌を相互に尊重することは大切で、現代社会の重要な儀礼となっています。」</li> <li>○ 写真「ピョンチャンオリンピックで優勝し、『日の丸』を掲げて喜ぶチームパシュートの選手たち」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真「日本の支援で建設された診療所」「尖閣諸島のかつおぶし工場」</li> <li>○ 地図「日本の排他的経済水域」「北方領土の歩み」</li> <li>○ 側注「北方領土」「竹島」「尖閣諸島」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「尖閣諸島を巡って」</li> <li>○ 写真「海上保安庁の船に挟まれた中国船」</li> </ul>

【社会（公的分野）】

<p>日 文</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国家と国家主権」</li> <li>○ 本文「(前略) すべての国の主権を平等に尊重し合うことが、国際社会の大切な原則です。また、国旗・国歌を国のシンボルとして相互に尊重し合うことが、国際的な儀礼です。日本では、法律で『日章旗』を国旗、『君が代』を国歌としています。」</li> <li>○ 側注「日本では、日章旗(日の丸)を国旗、君が代を国歌とする国旗・国歌法があります。」</li> <li>○ 写真「平昌オリンピックで入賞し、自国の国旗をかかげる選手」「試合前に国歌を斉唱するサッカー日本代表の選手」</li> <li>○ イラスト吹き出し「オリンピックなど、スポーツの国際試合ではおたがいの国の国旗や国歌を尊重し合うことが多いね。」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真「羅臼町から見た国後島」「竹島」「尖閣諸島」</li> <li>○ 絵図「北方領土周辺」</li> <li>○ 地図「日本の領域と排他的経済水域」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「日本の領土をめぐる問題の解決に向けて」の一部</li> <li>○ 写真「国後島の墓地で手を合わせる元島民」「竹島資料室」「尖閣諸島付近を航行する中国の海洋監視船と、追尾する日本の海上保安庁の巡視船」</li> </ul>
<p>自由 社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌」</li> <li>○ 本文「主権国家の独立と尊厳を表し、国家の掲げる理想や、国民が共有する誇りや連帯心を象徴するものとして国旗と国歌があります。国旗と国歌に対する敬愛は、国を愛する心情につながっています。また、国際社会では、他国の国旗と国歌に対して、自国のそれと同等に敬意を表するのが基本的礼儀となっています。オリンピックやワールドカップでも、各国の国旗が掲揚され、国歌が演奏されています。」</li> <li>○ 写真「リオデジャネイロオリンピック開会式」</li> <li>○ 脚注「ここがポイント! ③国際社会では相互に国旗・国歌への敬意が求められている。」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗と国歌を考えてみよう」</li> <li>○ グラフ「国旗・国歌に対する日米の高校生の差」</li> <li>○ タイトル「『日章旗』の意味」「『君が代』の意味」「国旗掲揚の国際儀礼」</li> <li>○ タイトル「どこの国の国歌だろう？」</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図「わが国の領域」</li> <li>○ 写真「沖ノ鳥島」「南鳥島」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ もっと知りたい「わが国の領土問題」</li> <li>○ 地図「1855年の日露通好条約で決められた国境」「李承晩ライン」</li> <li>○ 年表「北方領土問題の主な歴史」</li> <li>○ 写真「銃撃された日本の海上保安庁の巡視船」</li> <li>○ もっと知りたい「海をめぐる国益の衝突」</li> <li>○ 写真「魚釣島」</li> </ul>
<p>育 鵬 社</p>	<p>【本文関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国旗・国歌」</li> <li>○ 本文「国旗と国歌はその国を象徴するもので、それぞれの国の歴史や国民の理想がこめられています。過去に外国の植民地だった国にとっては、独立を果たし独自の国旗・国歌をもったことが主権国家の証にもなります。それぞれの国の人々が、自国の国旗・国歌に愛着をもつのは当然のことです。国旗・国歌に敬意を払うということは、その国そのものに対して敬意を払うことになるので、それらを相互に尊重し合うのが国際儀礼になっています。オリンピックやワールドカップや国際会議で、国旗は国の大小にかかわらず平等に掲げられます。日本では長年、日章旗(日の丸)を国旗、君が代を国歌とすることが、ならわしとして広く国民に定着しており、1999(平成11)年には、そのことが国旗・国歌法として定められました。」</li> <li>○ 側注「国旗・国歌法 第1条 国旗は、日章旗とする。第2条 国歌は、君が代とする。」「国際社会で通用する国旗・国歌への敬意の表し方」</li> <li>○ 写真「オリンピック表彰式での国旗掲揚の様子」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「国歌『君が代』の意味」</li> <li>○ 資料「各国の国歌の大意」(アメリカ、中国、フランス、イギリス)</li> </ul>	<p>【本文に係る資料】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 写真「尖閣諸島の魚釣島付近の領海に侵入した中国船を追走する海上保安庁の巡視船」</li> <li>○ 絵図・写真・解説「日本の主権範囲」の中に「竹島」「北方領土」「尖閣諸島」「日本の最南端、沖ノ鳥島と護岸工事がほどこされた沖ノ鳥島の北小島」</li> <li>○ 絵図「日本政府が2014(平成26)年に新たに命名した尖閣諸島の五つの島」</li> </ul> <p>【コラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ タイトル「日本の領土をめぐる問題」</li> <li>○ 地図「北方領土」</li> <li>○ 絵図「日本とロシアの主張」「日本と韓国の主張」「新增東国輿地勝覧 八道総図(写し)」</li> <li>○ 年表「北方領土問題に関する経緯」「竹島問題に関する経緯」「尖閣諸島の歴史」</li> </ul>

<b>観点</b>	<b>(イ) 主体的に学習に取り組む工夫</b>
<b>視点</b>	④単元の導入における工夫
<b>方法</b>	各単元の導入における、興味・関心を引き出す手立てと具体例

	各単元の導入における、興味・関心を引き出す手立てと具体例（私たちと経済）	具体例
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どのような」「どのように」「どういものだろう」の問いを示している。</li> <li>○ 導入の活動として「コンビニエンスストアの経営者になってみよう」という課題を、絵図、表、マンガで示している。</li> <li>○ 「探究課題」ではキャラクターの吹き出しで「～しましょう」「どのように」という問いを、「探究のステップ」では各節の問いを示している。</li> </ul>	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 探究課題「これからの社会で、私たちはどのようにして経済に関わっていくべきでしょうか。」</p> <p>「探究のステップ」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1節「買い物（消費活動）で、なぜ消費者の自立が求められているのでしょうか。」</li> <li>○ 2節「生産活動では、なぜ労働者の権利を保障することが重要なのでしょうか。」</li> <li>○ 3節「金融の働きは、なぜ私たちの生活にとって重要なのでしょうか。」</li> <li>○ 4節「国民の福祉にとって、なぜ財政が重要なのでしょうか。」</li> <li>○ 5節「経済は、私たちに何をもたらしているのでしょうか。」</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに4枚の写真を掲載している。それぞれの写真の横や下に、写真の説明文と内容に関する項目とページ数を示している。</li> <li>○ 導入の活動として、「もしもすべての給食を一人で作ったら」という課題を、マンガで示している。</li> <li>○ 学習の見通しとして、各節のテーマを示し、章全体を通して何を学ぶのかについて示している。</li> </ul>	<p>第4章「私たちの暮らしと経済」 「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1節「私たちの消費生活は、経済活動とどのようにつながっているのだろうか。」</li> <li>○ 2節「生産活動をになう企業にはどのような役割と責任があり、働く人たちはどのように関わっているのだろうか。」</li> <li>○ 3節「市場経済は、どのようなしくみと機能をもつのだろうか。」</li> <li>○ 4節「金融や財政のしくみは、私たちの暮らしにとってどのような役割があるのだろうか。」</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習の前に」として「身の回りの暮らしと経済について見てみよう」を設け、イラストや問いを示している。また、各問いには関連する本文のページ数を示している。</li> <li>○ 「第3部を見通そう」では具体例としてパン屋を挙げて、第3部で何を学習するのかを示している。</li> </ul>	<p>第3部「経済」</p> <p>「はるの市」の「若木地区」の商店街は、平日にもかかわらず、たくさんの人でにぎわっています。次の場面はイラスト内の①～④のどれにあたるか、（ ）に記号を入れてみよう。</p> <p>①スーパーで商品の代金を支払っています。②パン用小麦を受け取っています。③店長から給与を受け取っています。④ごみを収集しています。⑤ATMの利用方法を案内しています。⑥電気の検針をしています。</p>
<b>日文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、見開き2ページに「学習の始めに」として「文化祭を成功させよう！」を設け、マンガで示している。</li> <li>○ マンガについての説明文にイラストを加えながら示し、「なぜ」「どのような」の問いを2つ示している。</li> <li>○ 「第3編の学習について」では、第3編で何を学習するのかを示している。</li> </ul>	<p>第3編「私たちの生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「なぜ、浴衣やプールを家から持ち寄ることにしたのでしょうか。」</li> <li>○ 「輪投げの店を1日で作るために、『協力すること』以外にどのようなふうをしていたのでしょうか。」</li> </ul>
<b>自由社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページにイラストを掲載している。単元名の下に、単元の内容についての問いを示している。</li> </ul>	<p>第4章「国民生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちの豊かな生活を支える経済の仕組みは、どうなっているのだろうか。」</li> <li>○ 「幸せな経済生活とは、いったいどのようなものなのだろうか。」</li> </ul>
<b>育鵬社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大単元の導入において、1ページに3枚の写真を掲載しており、写真の横や下に説明があり、それぞれにキャラクターの吹き出しで「どうい」「どうやって」「なぜ」の問いを示している。</li> <li>○ 導入の活動として「経済の入り口」で、「コンビニの経営者と社員になって、新たなサービスについて考えてみましょう。」と活動を設け、説明文やイラストを示している。</li> <li>○ 「経済を学習するにあたって」で、第4章で考えることについて示している。</li> </ul>	<p>第4章「私たちの生活と経済」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「どういしくみになっているのかな。」</li> <li>○ 「魚はどうやって食卓に届くのだろう。」</li> <li>○ 「郊外に大きなショッピングセンターが増えたのはなぜかしら。」</li> </ul>

【社会（公的分野）】

観点	(イ) 主体的に学習に取り組む工夫
視点	⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫
方法	持続可能な社会の形成に関わる課題例と課題解決の手順

	課題例	課題解決の手順
東 書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境・エネルギー ・公害・環境保全   ・地球環境問題   ・資源・エネルギー問題 等</li> <li>○ 人権・平和 ・差別・人権侵害   ・戦争・紛争・難民問題   ・貧困・飢餓 等</li> <li>○ 伝統・文化 ・伝統文化の継承と保存   ・多文化共生   ・宗教間の対立 等</li> <li>○ 防災・安全 ・災害に強いまちづくり   ・東日本大震災からの復興   ・交通安全 等</li> <li>○ 情報・技術 ・情報化にともなう社会の変化・情報格差の問題 等</li> <li>○ 課題例については、関連のページを記載している。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 五つのテーマの中から、解決すべき課題を設定しよう</li> <li>2 資料を集め、探究しよう</li> <li>3 アクションプランとしてレポートにまとめよう</li> </ol>
教 出	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境・資源 ・自然災害   ・環境破壊・公害   ・エネルギー及び資源の枯渇 等</li> <li>○ 平和・人権 ・戦争・紛争・テロ   ・生物化学兵器・対人地雷・不発弾 等</li> <li>○ 経済 ・世界人口の爆発   ・日本国内の超高齢・人口減少社会の進展 等</li> <li>○ 教育・文化 ・識字率   世界遺産・地域遺産の保護と破壊 等</li> <li>○ 情報 ・ICT環境   ・PC・インターネット・スマートフォン 等</li> <li>○ 犯罪 ・地域や学校などで起こる犯罪・事件 等</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを選ぶ</li> <li>2 私の提案「自分を変える、社会を変える」を実際につくる</li> </ol>
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代社会 ・伝統文化の存続   ・訪日外国人旅行者への多言語対応 等</li> <li>○ 政治 ・バリアフリー社会の在り方   ・政治参加の在り方 等</li> <li>○ 経済 ・外国人労働者の受け入れ   ・これからの社会資本の在り方 等</li> <li>○ 国際 ・国際社会への貢献   ・核兵器廃絶に向けた世界の現状と課題 等</li> <li>○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題を決めよう（課題の設定）</li> <li>2 資料を集めよう（資料の収集と読み取り）</li> <li>3 考察しよう（考察）</li> <li>4 レポートを書こう（構想とまとめ）</li> </ol>
日 文	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 伝統・文化 ・地域の年中行事   ・日本の宗教   ・伝統的な芸術 等</li> <li>○ 政治・経済 ・社会保障・年金   ・財政赤字   ・外交   ・防衛 等</li> <li>○ 人権・平和 ・女性   ・子ども   ・外国人   ・アイヌ   ・障がいのある人 等</li> <li>○ 環境・科学・技術 ・地球温暖化   ・生物多様性   ・循環型社会   ・遺伝子操作 等</li> <li>○ 課題例については、関連のページを記載している場合がある。</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマの設定</li> <li>2 資料の収集と読み取り</li> <li>3 考察と構想</li> <li>4 まとめと評価</li> </ol>
自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文中で、次の課題例を示している。</li> <li>・地球環境問題   ・貧困・飢餓</li> <li>・青年海外協力隊   ・政府開発援助</li> <li>・日本型ODA   ・人間の安全保障</li> <li>・核兵器廃絶   ・核抑止論</li> <li>・食料自給率   ・愛国心</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 課題をみつけよう</li> <li>2 選択した課題について調べよう</li> <li>3 解決の方法を考えてみよう</li> <li>4 卒業論文にまとめる</li> </ol>
育 鵬 社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会 ・世界をおもてなしできる国   ・子どもの笑顔があふれるまち 等</li> <li>○ 政治・経済 ・地方がキラキラしている国   ・ものづくりのまち 等</li> <li>○ 国際 ・世界の平和と安全に貢献する国   ・クールジャパンを発信する企業 等</li> <li>○ 環境・食料 ・水と緑と風薫る国   ・「もったいない」精神のまち 等</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 テーマを決めよう</li> <li>2 課題探求の計画を立てよう</li> <li>3 プレゼンテーションしよう</li> <li>4 内容の見直し</li> <li>5 レポート作成</li> </ol>

【社会（公民的分野）】

<b>観点</b>	<b>(ウ) 内容の構成・配列・分量</b>
<b>視点</b>	⑥単元や資料等の配列・分量
<b>方法</b>	総ページ数, 各大項目のページ数, その他のページ数

	総ページ	私たちと現代社会	私たちと経済	私たちと政治	私たちと国際社会の諸課題	その他
東書	262	31	52	90	40	49
		○ 現代社会と私たち	○ 私たちの暮らしと経済	○ 個人の尊重と日本国憲法 ○ 現代の民主政治と社会	○ 地球社会と私たち ○ よりよい社会を目指して	
教出	272	26	64	90	45	47
		○ 私たちの暮らしと現代社会	○ 私たちの暮らしと経済 ○ 安心して豊かに暮らせる社会	○ 個人を尊重する日本国憲法 ○ 私たちの暮らしと民主政治	○ 国際社会に生きる私たち ○ 私たちが未来の社会を築く	
帝国	246	26	64	80	41	35
		○ 現代社会	○ 経済	○ 政治	○ 国際	
日文	264	28	54	88	45	49
		○ 私たちと現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治－個人の尊重と日本国憲法－ ○ 私たちの生活と政治－国民主権と日本の政治－	○ 私たちと国際社会 ○ 私たちの課題－持続可能な社会をめざして－	
自由社	270	42	44	78	60	46
		○ 現代日本の自画像 ○ 個人と社会生活	○ 国民生活と経済	○ 立憲国家と国民 ○ 日本国憲法と立憲的民主政治	○ 国際社会に生きる日本 ○ 持続可能な社会を目指して	
育鵬社	254	28	52	80	43	51
		○ 私たちの生活と現代社会	○ 私たちの生活と経済	○ 私たちの生活と政治－日本国憲法の基本原則－ ○ 私たちの生活と政治－民主政治と政治参加－	○ 私たちと国際社会の課題 ○ 社会科のまとめ	

観点	（ウ）内容の構成・配列・分量
視点	⑦社会参画への意識を高める工夫
方法	「民主政治と政治参加」における、社会参画を促している具体例

「民主政治と政治参加」における、社会参画を促している具体例	
東 書	<p>○ 「現代の民主政治と社会」の章末において、2ページにわたって、「S市の市長になって条例を作ろう」という学習課題を設定している。「ここまでの政治についての学習を生かし、あなた自身が市長になったつもりで、理想のまちを創るために、地方公共団体の法である『条例』の案を作って、議会に提出しましょう。」を設け、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなたが考える理想のまちを、右ページのステップチャートの、「理想のまち」の欄に記入しましょう。</li> <li>・下のS市の課題1から4を見て、市民の声も参考にしながら、あなたが解決したい課題を一つ選び、「課題」の欄に記入しましょう。</li> <li>・課題を解決し、理想のまちに近づくための解決策を考えて、グループで意見交換しましょう。グループでの話し合いを受けて、より良い解決策を考え、「解決策」の欄に記入しましょう。</li> <li>・解決策を決まりの形に整え、「条例案」の欄に記入しましょう。その際、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点や、次の点を参考にしましょう。</li> <li>・あなたが暮らすまちがかかえる課題を調べてグループで話し合い、それを解決するためにどのような条例があったらよいか、ステップチャートを活用して考えましょう。</li> </ul> <p>○ 章の導入で示した探究課題「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」について、文章で記述する活動を設けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャラクターの吹き出しで、「持続可能性」、「効率」と「公正」、「民主主義」の観点到に着目してまとめるよう示している。</li> </ul>
教 出	<p>○ 「私たちの暮らしと民主政治」の章末において、2ページにわたって、「まちづくりのアイデアを提言しよう」という学習活動を設定している。「これまでの学習を参考にしながら、私たちが暮らす地域の現状を知り、地域のために私たちができることはないか考えてみましょう。」を設け、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の様子を知り、調査テーマを決めよう グループ（4～5人）をつくって、自分たちが暮らす地域の地図を用意し、特徴や課題を確認する／グループごとに、現状や課題について調査するテーマを決定する</li> <li>・地域の課題についての情報を収集しよう 地域の広報誌などから情報を得る／各種の統計データから探る／市民団体や商工会、企業などを取材する</li> <li>・解決策を具体的に検討しよう データや取材情報などを根拠にして、地域の課題をまとめ、具体的な解決策を考える。</li> <li>・自治体に提言しよう～プレゼンテーションする 動画やスライドショーを交えた資料を作成する、模造紙を使ってグラフなどの図表を交えたポスターにまとめるなど、効果的な表現方法でアイデアを提言する／「地域の現状」→「現状から見える課題」→「課題を解決するための提案」というように順序立てて整理する</li> <li>・自治体の方から、自分たちの提言に対する意見や感想を聞こう。内容について不十分だった点や改善案がわかったら、提案シートを修正し、さらにアイデアを改善していこう。</li> </ul>
帝 国	<p>○ 「民主政治」の章末において、2ページにわたって、「自分が住むまちのまちづくりを考えよう」という学習活動を設定している。「自分が住むまちをよりよくするために、どのようなまちづくりが必要かを考えてみよう。」を設け、資料を掲載している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 よりよいまちにする方法をカードで整理しよう 思いっくまま自由に話し合おう／意見をカードに書こう／同じ内容のカードをまとめて、タイトルを付けよう／内容を考慮して模造紙に貼ろう／グループごとの関係性が一目で分かる表現をしよう</li> <li>2 挙げた項目の予算を分類しよう 1で挙げた案が、歳出のどの項目にあたるか考えよう／自分が住むまちの予算を確認しよう</li> <li>3 自分が住むまちの予算案を考えよう 優先順位をつけよう／キャッチフレーズを考えよう／予算案を円グラフにまとめよう</li> </ol>

【社会（公民的分野）】

<p>日 文</p>	<p>○ 「私たちの生活と政治」の編末において、2ページにわたって、「自分たちのまちの首長を選ぼう」という学習活動を設定している。「あなたの住むまちでは、首長を選ぶ選挙が行われることになりました。グループでまちの課題を考え、よりよいまちづくりを実現する首長の公約をまとめて、選挙をしましょう。」を設け、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの課題を出し合おう             <ul style="list-style-type: none"> <li>①住むまちの特色を、グループで考える。考えるときに必要な情報は何かを考える。／②考えたことをふまえ、まちの課題をできるだけ多く出し合う。／③自分の住むまちをどのようなまちにしたいかも考える。</li> </ul> </li> <li>・課題を公約にまとめよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>①首長としてどんな公約をつくるか、グループで考える。まちの予算を考え、課題の優先順位を決めて公約をまとめる。そのとき、どのような理由で順位を決めたのか、明らかにする。</li> </ul> </li> <li>・公約を分析しよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>①それぞれの公約を、効率と公正、個人の尊重といった見方・考え方に着目して評価する。／②自分の将来の視点から考える。それぞれの内容が、自分のどの年代と特にかかわるかを考える。また、家族や、まわりの人などについても、同様に考える。</li> </ul> </li> <li>・首長選挙に投票しよう             <ul style="list-style-type: none"> <li>①支持する首長を選び投票する。（自分のグループの首長以外から選ぶ。）そのときは投票した理由を説明できるようにする。／②投票の結果をふまえて、最も支持された首長の公約と他の公約を比較したり、自分たちが考えた公約の問題点などについてふり返ったりする。</li> </ul> </li> </ul>
<p>自由社</p>	<p>○ 「日本国憲法と立憲的民主政治」の章末において、2ページにわたって、「総合的な安全保障問題を考えよう」という学習活動を設定している。食料問題・防災問題・防犯問題について、調べ、話し合い、グループでまとめ、発表する活動を設定し、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・皆さんの発言から、防衛問題だけではなく、①食料問題、②防災問題、③防犯問題、④水問題、⑤医療保険問題、⑥エネルギー問題が広い意味の安全保障問題として考えられるね。④水問題と⑤医療保険問題とは第4章で、⑥エネルギー問題は第5章で学びますから、残りの3つの問題について研究しましょう。</li> </ul> <p>4～6人の班を作って、図書室やインターネットを利用し、わが国の現状について調べ学習をしましょう。各々が調べた内容を持ち寄り、話し合っ、600字程度で班としての研究をまとめましょう。</p>
<p>育 鵬 社</p>	<p>○ 「私たちの生活と政治」の章末において、2ページにわたって、「政治のこれから」という学習活動を設定している。「自分たちの住む地域をより良くするために、どのようなまちづくりが必要か、考えてみましょう。」を設け、資料を掲載している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の住むまちの特色と課題を調べよう             <p>自分たちが住む地域の課題を解決し、特色を生かして、より良くするためにはどうすればよいか。どのような課題があるか、どのような特色があるか、一項目ずつカードに書き出してみよう。</p> </li> <li>・カードを整理しよう             <p>模造紙に関連のあるカードごとにまとめて整理し、見出しをつけてみよう。</p> </li> <li>・テーマについてランキング             <ul style="list-style-type: none"> <li>①見出しについて同時にすべて取り組むことはできない。そこで重要度や必要度に応じて、ランキング（順位づけ）をして、ピラミッド型に配置して自分自身のランキングをつくらう。／②次に班（4～6人）をつくり、全員で一致するひとつのランキングをつくってみよう。／③クラス全体の意見を集約し、クラスのランキングをつくってみよう。</li> </ul> </li> </ul>

【社会（公民的分野）】

<b>観点</b>	(エ) 内容の表現・表記
<b>視点</b>	⑧学習内容との適切な関連付けがなされた絵図・写真等の活用
<b>方法</b>	資料の種類と掲載数

	「私たちと政治」における資料の種類と掲載数							合計
	絵 図	写 真	地 図	表・グラフ	新 聞	年 表	文書資料	
東 書	55	122	3	53	12	2	12	259
教 出	54	116	5	64	5	3	8	255
帝 国	45	81	1	54	7	2	4	194
日 文	62	106	3	66	10	1	14	262
自 由 社	22	77	1	16	4	0	2	122
育 鵬 社	43	105	3	36	17	1	37	242

<b>観点</b>	<b>(エ) 内容の表現・表記</b>
<b>視点</b>	⑨掲載されている情報を精選し、視点を明確にする工夫
<b>方法</b>	ユニバーサルデザインに関する配慮がなされたフォント，グラフ，レイアウト等

	フォント，グラフ	レイアウト等
<b>東書</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用し，本文ふり仮名の文字濃度を薄くしている。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一し，資料の掲載部分に薄い色を付け，本文との区別をしている。</li> <li>○ ページの偶の色分けで，学習内容を示している。</li> </ul>
<b>教出</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページの偶の色分けと，下部への記載で，学習内容を示している。</li> </ul>
<b>帝国</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページの偶の色分けと，見開きページ右側のインデックスで，学習内容を示している。</li> <li>○ 図版のタイトルの先頭に，矢印を付している。</li> </ul>
<b>日文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用している。</li> <li>○ 円グラフと帯グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページの偶の色分けと，見開きページ右側のインデックスで学習内容を示している。</li> <li>○ 図版のタイトルの先頭に，矢印を付している。</li> </ul>
<b>自由社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 重要語句は，ゴシック体（太字）を使用している。</li> <li>○ 円グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは縁取りして区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ 見開きページの偶の色分けと，見開きページ左下の文字で，学習内容を示している。</li> </ul>
<b>育鵬社</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ふり仮名には，ゴシック体を使用している。</li> <li>○ 円グラフでは，グラフに文字や数値を入れ，隣り合うデータは区切っている。</li> <li>○ 複数のデータを表現した折れ線グラフでは，データごとに色を変えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文ページのレイアウトを統一している。</li> <li>○ ページの偶の色分けと，下部への記載で，学習内容を示している。</li> <li>○ 図版のタイトルの先頭に，矢印を付している。</li> </ul>

観点	(オ) 言語活動の充実
視点	⑩目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
方法	単元末におけるまとめ方の具体例

単元末におけるまとめ方の具体例（私たちと経済）	
東 書	<p>○ まとめ活動 導入の活動では、長く続けられるコンビニエンスストアについて、場所の面から考えました。A市、B市、C市から1か所選んで、あなたが出店した店で売る弁当について（1）～（6）を考えましょう。</p> <p>（1）出店した地域の消費者は、どのようなお弁当を求めているのでしょうか。導入の活動にあった周辺の環境や、これまでの学習、右の資料を参考にして、できるだけ多く考えましょう。その際、ウェビングを使うと、思考を広げたり関連付けたりすることができます。</p> <p>（2）（1）で考えたお弁当への要望からいくつかを選び、商品開発の方針（コンセプト）を立てましょう。</p> <p>（3）（2）の方針に基づいて、次の2から5の項目について考え、お弁当の企画をまとめましょう。</p> <p>（4）グループの中で、各自の企画を発表し合い、「効率」や「公正」、「希少性」、「持続可能性」の観点から見て、実現可能かどうか、意見交換をしましょう。</p> <p>（5）グループで発表する企画の一つを選び、右ページの企画書の例を参考にして、企画書を完成させましょう。</p> <p>（6）グループでまとめた企画書を、クラスで発表し合い、意見交換をしましょう。</p> <p>○ 第4章の探究課題を解決しよう 探究課題「これからの社会で、私たちはどのように経済に関わっていくべきでしょうか。」</p>
教 出	<p>○ 学習のまとめと表現 3 第4章全体のテーマについて、次の問いに答えよう。 第4章「私たちの暮らしと経済」全体のテーマ 「私たちの暮らしにおいて、経済活動はどのような意味があるのだろうか。」</p> <p>①自分の一日の生活を振り返って、そのうち三つの行動を取り上げ、経済活動とどのようなつながりがあるか、下の例を参考に考えよう。【例：コンビニエンスストアで買い物→家計「財・サービスの消費」／企業「財・サービスの生産」／企業「流通業の経済活動」】</p> <p>②①を参考に、自分自身と経済活動がどのように関わっているか、100字程度の文章にまとめてみよう。</p> <p>③経済活動をになう一員として、これからの経済活動とはどうあるべきかを考えてみよう。第4章の学習を振り返って、課題として考えられることと、その解決の仕方にふれながら、自分の考えを整理してみよう。</p> <p>④第4章の学習を通じて、新たに出てきた疑問やさらに調べたいことを、自由に書き出してみよう。</p>
帝 国	<p>○ 章の学習を振り返ろう 2 見方・考え方を働かせて考えよう ステップ1 自分の考えを整理しよう</p> <p>①「国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たすべき役割を、p.157～168で学習したことを振り返りながら、書き出してみよう。</p> <p>②①で挙げたものの中から、あなたが特に政府が果たすべき役割だと思うことを選び、根拠となるページと理由をまとめてみよう。その際、見方・考え方を働かせた部分に下線を引いてみよう。</p> <p>ステップ2 意見交換を通して自分の考えを深めよう</p> <p>①グループになり、「私が考える特に政府が果たすべき役割」を理由とともに発表し、意見交換してみよう。</p> <p>②グループで行った意見交換を参考に、自分の考えに足りなかった事柄や見方・考え方を書きとめ、自分の考えを深めよう。</p> <p>ステップ3 章の問いへの答えを理由とともに考えよう ステップ2を踏まえて、国民の生活と福祉の向上を図るために政府が果たすべき役割は何か、自分の考えを理由とともに説明してみよう。その際、見方・考え方を働かせて考えた部分に下線を引いてみよう。</p>

【社会（公民的分野）】

<p>日 文</p>	<p>○ 学習の整理と活用          ニュースを「見方・考え方」から見てみよう          ①労働組合が、給料などの労働条件について使用者と交渉する権利を、なんというでしょう。          ②福井市が、職員の給料を削減しなければならなかった理由を、「希少性」の語句を使って説明してみましよう。          ③どのような対立があり、どのように合意したか、まとめましよう。</p> <p>○ やってみよう          消費税の制度のあり方について、ピラミッドチャートを使用しながら自分の主張を組み立ててみましよう。</p>
<p>自由社</p>	<p>○ 学習のまとめと発展          第4章の学習を発展させるために、次の課題のうち1つを選んで、約400字でまとめてみよう。          ①江戸時代の家庭にはなくて、現代ではどこの家庭にもある家庭用品を10ほどあげ、それらがなければ、生活がどのように変わるか考えてみよう。          ②新しく開発された商品は経済生活を豊かにすると同時に、社会に悪い影響をあたえることがある。そのときは規制が必要となる。そのことを、携帯電話を例にして考えてみよう。          ③市場経済では、商品売るために莫大な宣伝費をかけるのに対して、計画経済では宣伝費はあまりかけない。宣伝費の得失について、考えてみよう。          ④高齢者が増え、働いている若い世代が少なくなる高齢社会の中で、年齢制度に問題が生じることを確かめ、その解決法にはどんなものがあるか、いろいろ考えてみよう。          ⑤わが国は循環型社会をさらに進めるために、どのようにしていかなければならないか、考えてみよう。</p>
<p>育鵬社</p>	<p>○ 経済のこれから          1 コンビニエンスストアに共通の課題としてどのようなものがあるか、調べてみましよう。          2 そこで「経済の入り口」でインタビューした、コンビニエンスストアを経営するA～C社のそれぞれの会社では、社会に求められる会社をめざして、「行動計画2030」を社員みんなで考えて、作成しようということになりました。「経済の入り口」での活動の時につくったA・B・C社の班に分かれ、SDGsの最終年に合わせた「行動計画2030」(Plan)を、次の①～⑤にしたがって話し合い、作成してみましよう。          ①「2030年には、こういう会社になっている」というゴールを具体的に示しましよう。          ②社会に求められる会社をめざすために取り組まなくてはならない課題を、右の四つのテーマにしたがってあげてみましよう。(1 イノベーション/2 環境/3 社員と働き方(人権)/4 経営の健全化(ガバナンス))          ③②であげた課題の解決のために実行すること(Do)を考え、具体的に提案してみましよう。          ④③で提案した内容を、「社会課題の解決や、会社と社会が共有する価値の創造に結びつくものになっているか」という視点で、評価(Check)してみましよう。          ⑤④の評価を受けて改善(Act)し、グループの「行動計画2030」をポスターにまとめ、ポスターツアーを行いましよう。</p>